

登録コード	A3591312	開講年度	2026				
授業科目	プレゼンテーション演習 I					担当教員	保坂 毅
英文授業名	Presentation I						
単位数	1	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2022Aカリ，2021Aカリ，2020Aカリ，2019Aカリ						
	【2022年度以前カリ対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	プレゼンテーションは、在学時だけでなく、卒業後も様々な場面で必要とされる。自分の主義主張を単に述べるだけではなく、聴衆に理解されて初めて、プレゼンテーションが成功したと言える。限られた時間内に、必要事項を盛り込み、それをスライドやポスターに図示する作業は、簡単なようで、難しい。本授業では、以下の項目を目標として掲げている。 1. 自分の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 2. 他人の発表を聴講して、質問ができる。 3. プレゼンテーション用の分かりやすいスライドを作成できる。	
	【2022年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	プレゼンテーションは、在学時だけでなく、卒業後も様々な場面で必要とされる。自分の主義主張を単に述べるだけではなく、聴衆に理解されて初めて、プレゼンテーションが成功したと言える。限られた時間内に、必要事項を盛り込み、それをスライドやポスターに図示する作業は、簡単なようで、難しい。本授業では、以下の項目を目標として掲げている。 1. 自分の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 2. 他人の発表を聴講して、質問ができる。 3. プレゼンテーション用の分かりやすいスライドを作成できる。	
	2026A3編（24A），2025A3編（23A），2024Aカリ，2023Aカリ						
	【2024年度以前カリ対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	プレゼンテーションは、在学時だけでなく、卒業後も様々な場面で必要とされる。自分の主義主張を単に述べるだけではなく、聴衆に理解されて初めて、プレゼンテーションが成功したと言える。限られた時間内に、必要事項を盛り込み、それをスライドやポスターに図示する作業は、簡単なようで、難しい。本授業では、以下の項目を目標として掲げている。 1. 自分の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 2. 他人の発表を聴講して、質問ができる。 3. プレゼンテーション用の分かりやすいスライドを作成できる。	
	【2024年度以前カリ対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	プレゼンテーションは、在学時だけでなく、卒業後も様々な場面で必要とされる。自分の主義主張を単に述べるだけではなく、聴衆に理解されて初めて、プレゼンテーションが成功したと言える。限られた時間内に、必要事項を盛り込み、それをスライドやポスターに図示する作業は、簡単なようで、難しい。本授業では、以下の項目を目標として掲げている。 1. 自分の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 2. 他人の発表を聴講して、質問ができる。 3. プレゼンテーション用の分かりやすいスライドを作成できる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業では、プレゼンテーションに必要なスライドやポスターの作製方法について解説する。また、各研究分野において、上級生のプレゼンテーションを聴講するとともに、4年次における研究計画の発表につながる論文の紹介を行う。						
(5)授業計画	1 プレゼン資料の作り方（資料配布） 2-15 他人のプレゼンテーションを聴講し、自分の担当回で、自分の研究分野に関連した論文について、スライド等を用いて発表する。 ※最後の授業回に授業アンケートを実施する。						
(6)自主学習の指針	自主学習では参考書の使用を勧める。また、各回で配付される発表レジュメなども活用して自主学習に役立ててもらいたい。						
(7)成績評価の基準	以下の6項目に対し評価する。 (i)課題への理解が適切である。 (ii)課題の背景が説明できる。 (iii)課題に関する未解決の問題を説明できる。 (iv)未解決の問題に対する解決策を説明できる。 (v)その解決策が独創的である。 (vi)内容が論理的で、文章が正しく構成されている。 これら、6項目を全て満たし、かつ、教員を感心させるレベルにあれば『卓越している』、5項目であれば『かなり上にある』、4項目であれば『やや上にある』、3項目であれば『合格水準にある』とする。						
(8)事前事後学習の内容	講義の事前学習：講義のキーワード等を参考に事前調査し、調査結果を自分の言葉でノートにまとめること。 また、教員から出された課題等に取り組むこと。 講義の事後学習：講義で紹介された内容を復習し、自分なりにノートにまとめること。 加えて、講義で紹介された参考書や文献の調査を行い、その内容を自分の言葉でノートにまとめること。						

(8)事前事後学習の内容	以上の学習については、学習内容として決められた時間内にできる範囲を標準とする。 ※この授業は90時間の学修を必要とするため、60時間以上の時間外学習が必要となる。
(9)テストやレポートの予定	なし
(10)成績評価の方法	受講態度と最終回に提出した課題の内容で評価します。 ○ 評価基準〔評語（点数）〕：秀（90-100）、優（80-89）、良（70-79）、可（60-69）、不可（59以下）
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時対応します。
(12)履修上の注意	特になし。
【教科書】	特に指定しない。
【参考書】	これから学会発表する若者のために -ポスターと口頭のプレゼン技術-（酒井聡樹著、共立出版） 学生・研究者のための伝わる！学会ポスターのデザイン術（宮野公樹著、化学同人）